



イーハトーブ

4月10日号

最近メディアでは、戦争やハラスメントなどが多く取り上げられている。日本は、世界最初の核兵器攻撃による被爆体験を有し、悲惨な戦争によって、沖縄をはじめ全国で多数の尊い生命を失った。また日本軍隊の行動によりアジア諸国民に対し多大な被害を与えた反省の上にたち、「われらとわれらの子孫のために、諸国民との協和による成果と、わが国全土にわたって自由のもたらす恵沢を確保し、政府の行為によつて再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意」した憲法前文は主権者たる国民の使命であり、「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免かれ、平和のうちに生存する権利を有することを確認」した憲法である。

ところが、今もなお軍備競争は続いている。莫大な人的、物的資源の消費とともに軍事予算は絶えず増大している。安保条約により、全国各地に米軍基地がおかれ、自衛隊も年々強化され、爆音、墜落・不時着、婦女暴行等の基地被害は後を絶たない。

平和は、人間の生存とすべての人権の前提であるとともに、人権の尊重なくして平和はありえない。

私たちは、憲法に基づく行為を政府や政治家がしているかどうかを監視する責任がある。それを基準にして議員を選ばなければならない。我々のための政治、平和を守り、権利が十分に保障される、人間らしい生活ができる社会をつくつていかなければならない。

そのためには、毎月行われている19日行動や5・3憲法集会、または平和研修などに参加し、さらにはJR東労組の運動に賛同いただいている推薦議員の応援行動に参加するなど、知った人から行動に移そう。

(M・K)

イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちが外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っていきます。